

## 取扱説明書

型番:TA2C-M8

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。別冊「使用上のご注意・サポートガイド」と本書をよくお読みのうえご使用ください。また、保証書裏面の「保証規定」をよくお読みください。

### 重要保管

本書は必要なときすぐにご覧になれるようお手元に保管してください。

#### 本書で使用しているマークについて

	死亡または重傷を負う可能性がある内容です。		軽傷を負うことや財産への損害が生じる可能性がある内容です。
	操作の際注意するポイントです。		補足説明や知っておくと便利なポイントです。

#### ★本製品はGoogle Play (Google Play ストア)に対応しておりません

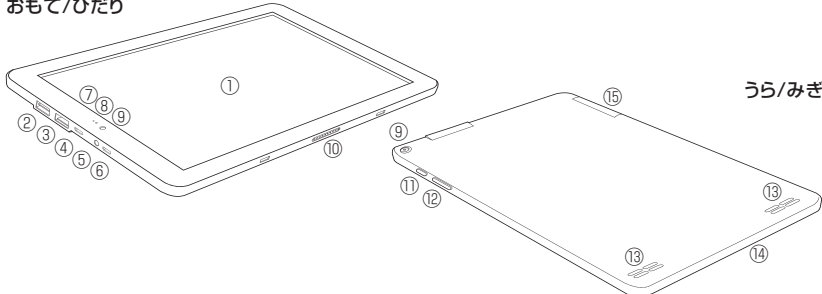
- 本製品は、Android OSの自動アップグレードをおこなわず固定OSバージョンで運用いただけることを目的に、Google Playストアおよび一部のGoogleサービスに対応しておりません。したがって本機にGoogleアカウント/パスワードを設定していてもGoogle PlayストアのWebサイトにアクセスすることができないか、アクセスができてGoogle Playストアに「ダウンロード済み」「インストール済み」と結果表示された場合でも、実際は本機へのアプリのダウンロードはおこなわれません。あらかじめご了承ください。
- Google Playストア以外のAndroidアプリストアはご利用いただけません。

### 1. セット内容 — はじめにご確認下さい —

- 本体  ACアダプター  電源ケーブル(USB TypeAプラグ→micro-Bプラグ)
- 使用上のご注意・サポートガイド  保証書  取扱説明書(本書)

### 2. 各部の名称と機能

おもて/ひだり



うら/みぎ

名称	補足説明
①ディスプレイ(画面)	表面に10点マルチタッチパネルを装備しています
②USB2.0ポート(TypeA)	USB機能はホストモードです。USBメモリーや外部キーボードなどUSB機器を接続します
③USB2.0ポート(TypeA)	
④microHDMI出力端子	ご利用の際は市販microHDMIケーブル(別売)をご用意ください
⑤ヘッドホン兼ヘッドセット端子	ヘッドセットの規格は「CTIA」です(単体マイクは使用できません)
⑥電源入力端子(DC-IN)	形状はmicroUSB2.0ポートです。USB機能はデバイスモードおよびOTGモードです
⑦照度センサー	周囲の明るさを検知します
⑧電源ランプ	消灯/点灯によって以下の動作状態を表します 緑色点灯：電源ON状態です(スリープ時も含まれます) 消灯(黒色)：電源OFF状態です 赤色点灯：内蔵バッテリーを補充電中です
⑨Webカメラ(内側/外側)	静止画や動画が撮影できるカメラレンズです
⑩拡張ポート	(当社製の専用周辺機器(別売))に接続するための端子です
⑪電源スイッチ	本機の電源をON/OFFにするスイッチです
⑫音量ボタン	+を押すと音量が上がり、-を押すと音量が下がります
⑬ステレオスピーカー	縦向き使用の際にスピーカーレイアウトが左/右配置となります
⑭内蔵モノラルマイク	小さな穴の内部にモノラルマイクを内蔵しています
⑮メモリーカードスロットカバー	カバーの中にmicroSD/microSDHCカードスロットがあります

- ②③のUSBポートについて
- ②③のUSBポートは、USBメモリーなどの外部USB機器へ本機から給電をおこないながら使用する用途のポートです(USBホストモード専用)。故障の原因になりますので、外部バッテリーやDC電源など本機へ給電する装置は接続しないでください。USBハブなどを介する場合も、USBハブのUSBポートに本機へ給電するような装置を接続しないでください。
  - ②ACアダプターから本機へ供給される電力は最大10W未満です。システムの動作負荷状況にもよりますが、接続している外部USB機器の消費電力がたとえUSB2.0規格内であっても、システムが必要とする消費電力の総和が過大な場合は、ACアダプター接続中にもかかわらず内蔵バッテリーからも電力補助がおこなわれバッテリー残量の減少が進行したり、システム動作速度が緩慢になるなどの障害が起きる場合があります。この場合は、セルフパワー型USBハブを介して外部USB機器を接続してください。

### 3. はじめて電源をONにする前に

#### 3-1. インターネット環境の準備

初めてインターネットをおこなう方は、あらかじめインターネットプロバイダーと契約し、インターネット回線を開通させたうえで、無線LAN親機(無線LANルーターなどとも呼ばれます)など、本機との接続に必要な機器をご用意ください。

本機は無線LAN受信機(子機)を内蔵しており、お選びいただける規格は以下です。

2.4GHz帯 無線LAN	5GHz帯 無線LAN
IEEE802.11b/g/n	IEEE802.11a/n/ac

無線LAN親機を使用するときは、その取扱説明書等を参照して以下をメモしておきましょう。  
・ネットワーク名(SSID) 無線LAN親機などアクセスポイント固有の名前です

・ネットワークセキュリティキー (セキュリティキー、暗号化キー、WPA2キー、WEPキーなど)
---

(無線LANの設定方法は【[図4-6-1. 無線LAN\(Wi-Fi\)の接続設定](#)】で説明します。)

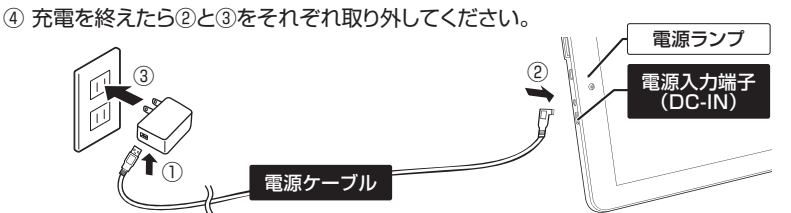
- 本機の時計機能は、無線LANに接続すればネットワークから提供される日時情報を利用して、自動的に日時合わせされるようになっています(出荷時設定)。手動で日時合わせすることも可能です。【[図5-2. 各種詳細設定の変更方法](#)】

#### 3-2. ACアダプターの接続方法と内蔵バッテリーの充電方法

- 付属のACアダプターに、付属の電源ケーブル(形状:USBケーブル)を接続します。
- 本機の電源入力端子(DC-IN)にmicroUSB型電源プラグを押しこみます。
- ACアダプターを電源コンセントに接続します。(本機の電源ランプが点灯します。)
  - 電源OFFの状態では、給電を開始すると画面に電池のアイコンが表示され、続いて充電残量(%)が表示されたあと画面が消灯します。(充電中に電源スイッチを短押しすると充電量(%)の確認ができます。)
  - 充電が開始されると、本機の「電源ランプ」が赤色点灯に変わります。満充電になったら電源ランプは消灯します(電源ON時は緑色点灯に変わります)。充電を開始した時点ですでに満充電の場合は、電源ランプは赤色点灯にならないか、赤色点灯してもすぐに他色へ変わります。

- 電源をONにするには一定以上の充電残量が必要ですので、はじめてお使いになるときや、充電残量が少ないときおよび充電残量が0%のときは、30分以上充電をおこなってください。

- 充電残量が0%になった以降長期間使用されなかった場合は、充電時間が通常時よりも大幅に長くなる場合があります。



- 発熱や故障、もしくは本機の性能低下の原因になりますので、本機への給電は、必ず付属のACアダプターおよび電源ケーブルを使用して、電源入力端子(DC-IN、兼microUSBポート)からおこなってください。電源ケーブルの延長はおこなわないでください。(上の図で指定する以外の接続はしないでください。)

- バッテリー残量がなくなると使用中でも電源がOFFになります。低残量を知らせるメッセージが出たら、使用しているアプリのデータをすぐに保存のうえ充電してください。

- 本機に内蔵しているリチウムイオンポリマーバッテリーは、いつでも縦置き充電をおこなうことができます。リチウムイオンバッテリーの特性などについては【[図5. 別冊 使用上のご注意・サポートガイド](#)】で詳しく説明しています。

#### 3-3. タッチパネルの操作方法について

タッチ操作名	タッチ方法	おもな動作内容
タップ	画面の項目を軽く1回たたきます	選択や決定
ダブルタップ	画面の項目をすばやく2回連打します	拡大や縮小
長押し(ロングタップ)	画面の項目に、しばらく指を押しつけたままにします	オプションメニューの表示
フリック	画面に触れた指先を すばやくはらうように動かし離します	写真やページをめくる
スワイプ	画面に触れた指先で画面をゆっくりなぞります	画面表示の移動
ドラッグ	項目を指先で押さえたまま、目的の位置まで動かします	アイコンなどの移動
ピンチアウト	2本の指で画面に触れたまま、指と指を広げます	画面の拡大
ピンチイン	2本の指で画面に触れたまま、指と指を近づけます	画面の縮小

- 市販の一部タッチペンで本機の操作ができない場合がありますが、本機の故障ではありません。

### 4. 本機を使い始める

さあ、使いはじめましょう。ここからは本機の基本的な操作方法を説明します。画面は横向きでも縦向きでもご利用いただけます。(スピーカーは縦向き配置です。)

#### 4-1. 本機の電源をONにする

- 初めて電源をONにするとき(前回、完全に電源をOFFにしたとき)
  - 電源スイッチを長押しします。
  - 長押しが約2秒経過すると画面に「システムを起動します」と表示されますので、電源スイッチから指を離してください。(10秒間以上の長押しはさけてください。)
  - 画面表示がandroidロゴに変わります。しばらく待ちます。
  - 右の「ホーム画面」が表示されたら本機の電源ON(起動)は完了です。

- 電源スイッチの長押しが10秒間続くと本機は自動的に「強制終了」しますので10秒間を超える長押しをおこなわないでください。【[図4-2. 本機の電源をOFFにする](#)】

#### ●待機状態(スリープ、または画面ロックとも呼ばれます)から復帰させるとき

電源スイッチをカチッと短押しすると起動状態に復帰します。

電源ONのとき、または待機状態のときの電源ランプの色	緑色点灯	充電中のときは電源ON/OFFを問わず満充電になるまで赤色点灯です
----------------------------	------	-----------------------------------

#### 4-2. 本機の電源をOFFにする

以下の2通りの方法があります。

- 待機状態にする  
電源スイッチをカチッと短押しします。  
→画面が消灯し待機状態になります。

- もう一度電源スイッチをカチッと短押しすればすぐに起動状態に復帰できるため、操作を一時的に中断する場合などに適しています。ただしCPU(中央演算装置)などはアイドル状態を維持しますので、待機電力を消費します。

#### ●完全に電源をOFFにする

- 電源スイッチを押します。
- 長押しが約1秒経過すると、画面右上に右のダイアログボックスが表示されます。電源スイッチから指を離し、[ 電源を切る ] をタップします。(システムを再起動させたいときは [ 再起動 ] をタップします。)
- 続いて、画面中央に下のダイアログボックスが表示されます。[ OK ] をタップすると本機の電源が完全にOFFになります。

- 電源を切る  
タップした電源をOFFにします。
- ②③の操作中に、ダイアログボックスから離れた場所をタップすると、電源OFFの操作を中止することができます。

完全に電源をOFFにしたときの電源ランプの色	黒色(消灯)	充電中(赤点灯)中に電源をOFFにしたときは赤色点灯が継続します
------------------------	--------	----------------------------------

- 完全に電源をOFFにした直後に再度電源をONにするときは、バックグラウンドのシステム終了処理が終わり、電源ランプが緑色点灯から黒色(消灯)に変わったことを確認してから操作してください。充電中(赤色点灯)のときは画面消灯後30秒程度経ってから操作してください。電源スイッチを2秒以上長押ししても画面に「システムを起動します」と表示されないときは、あらかじめ30秒程度待ってから電源ボタンを長押ししてください。

- 本機をすぐに使用しないときは完全に電源をOFFにしてください。1日一回など定期的に電源をOFFにするか再起動をおこなうことで、本機の記憶装置に不用データ(garbage)が蓄積されることを防止することができます。不用データの蓄積が長期継続した場合は、本機のパフォーマンス低下や突然の電源OFFなどの原因になる場合があります。本機は24時間連続稼働を前提とした設計になっておりません。

- 【本機の強制終了方法】  
本機の画面がフリーズする(固まる)などしたときは、次の方法で本機を強制終了してください。→「電源スイッチを10秒以上長押し」

- 強制終了による電源OFFは、データ破損など故障の原因になることがあります。やむを得ない場合以外は、強制終了の操作となる「電源スイッチの10秒間長押し」をおこなわないでください。電源をONまたはOFFにする操作中でも、電源スイッチから指を離さず10秒間長押しを続けた場合は強制終了動作に移行し、電源が強制的にOFFになります。

#### 4-3. 「ホーム画面」の基本操作方法

- 「ホーム画面」
- ステータスバー  
画面上部にあり、無線LANの接続状況、時刻、バッテリーの状態などを表示します。
  - アプリドローワー  
タップすると「アプリ画面」が表示されます。アプリアイコンをタップしてアプリを使用します。【[図4-7. おもな内蔵アプリについて](#)】

- 「アプリ画面」
- バックボタン  
現在表示中の画面の、ひとつ前の画面やページに戻ることができるボタンです。
  - ホームボタン  
どんな操作をしているときでも、このボタンをタップすると「ホーム画面」に戻ります。
  - 履歴ボタン  
アプリや設定などの利用履歴を画面表示するボタンです。履歴画面に表示されたアプリ等をタップするとアプリの切り替えも直接おこなえます。

(③の バックボタンを押すとホーム画面に戻ります。)

- 利用を終えたアプリを終了する方法 / アプリの利用履歴を消去する方法
- ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。(アプリ操作の終了)
  - 履歴ボタンをタップします。履歴表示されたアプリの右上にある×をタップするか、アプリを右または左にフリックすると利用履歴を消去できます。
- 履歴画面からアプリ操作の再開もできます。履歴画面に表示される「全て消去」のタップでアプリ履歴の一括消去もできます。

#### 4-4. タッチキーボードの操作方法

- インターネット検索やメールの作成、各種設定作業などで文字の入力が必要になると、画面にタッチでタイピング(文字入力)ができる、タッチキーボードが表示されます。

- タッチキーボード  
(本書では、以降キーボードといします)

出荷時設定はQWERTYキーボード/ローマ字入力(ひらがな漢字変換)になっています。画面の文字をタッチタイピングすると表示される文字変換候補をタップすることで日本語変換しながら文字入力します。半角英数字のみの入力が必要な箇所に文字入力カーソルがあるときは、日本語変換をおこなわない状態がデフォルトになります。

#### 文字種別の切り替え

- キーボード左下にある、「文字ボタン」をタップすると、英小文字の選択や数字・記号などの文字種別を切り替えることができます。
- 「記号」のアイコンをタップすると、絵文字や顔文字が表示されます。
- 右のアイコンをタップすると英文入力モードに切り替わります。

#### キーボードの設定メニュー

- キーボード上部のバー表示にある左の機能設定アイコンから、以下の機能設定をおこなうことができます。
  - キーボードスタイルの選択
  - 入力モード切替
  - 単語登録
  - キー操作音のON/OFF
  - フリック入力/グルインプ力の設定

#### キーボードのサイズや表示位置を変更する

- キーボード上部のバー表示にある左のアイコンをタップします。バーの表示が以下へ切り替わります。
- こちらのアイコンをドラッグするとキーボードの表示サイズを変更することができます。
- こちらのアイコンをドラッグするとキーボードの表示位置を変更することができます。

- こちらのアイコンをタップするとキーボードを背景表示の上にかぶせて表示することができます。このとき以下のアイコンが表示されますのでタップします。
  - スライドバーを左右にドラッグすると、キーボードの表示透過率が調整できます。

#### キーボード表示を終了したいときは

- 画面下部のバックボタンをタップするとキーボード表示が終了します。
- キーボードが表示されているときは、バックボタンが右向きに変わります。



(⇒ 表面からのつづきです)

### 4-5. 「通知バー」と「クイック設定画面」について

●本機からの通知を表示する「通知バー」は、以下の手順で表示できます。

①ホーム画面上部の画面の外枠に触れ、画面の内側にスワイプします。

②画面上部に通知バー(上部のバー)と通知内容が表示されました。

通知バー(上部)  
通知内容(通知がある場合)

画面上部の外枠から、画面内側へスワイプ

通知内容は、右か左にフリックすると消去できます。  
通知バー、通知内容から離れた場所をタップすると両方の表示が消えます。

●使用頻度が高い設定項目は、「クイック設定画面」から設定できます。

①表示した通知バーの右下にある下向きアイコンをタップします

②通知バーの下側にクイック設定画面が表示されました。

(通知バー部分にも「設定」アイコンが追加されます。)

【クイック設定画面】

通知はありません

(スワイプでも同じ操作ができます)

●クイック設定画面に表示されているアイコンのタップから以下の設定がおこなえます。

	Bluetoothの接続設定 (Bluetooth)
	画面の自動回転/固定の切替
	画面の照度調整
	【設定】アイコンの機能はアプリ画面内にある右の「設定」アイコンと同じです。【※ 5-2.各種詳細設定の変更方法】

### 4-6. クイック設定画面【※ 4-5(前項)】からの設定方法

クイック設定画面からの設定方法の例として「無線LANの接続設定(Wi-Fi)」、「Bluetoothの接続設定」、「キャスト(Miracast機能)」を説明します。

#### 4-6-1. 無線LAN(Wi-Fi)の接続設定

(本機でインターネットをおこなうために必要な設定です。)

①インターネット環境をご準備のうえ無線LAN親機(別売)を用意します。  
【※ 3-1. インターネット環境の準備】あらかじめ無線LAN親機の設定をおこなってから開始してください。  
無線LAN親機側の設定方法は、無線LAN親機の取扱説明書を参照してください。

②4-5の手順でクイック設定画面を表示させます。

③Wi-Fiアイコンの下に表示されている、「Wi-Fi」をタップします。

④クイック設定画面に周囲の電波状況が一覧表示されます。

⑤周囲の電波状況表示の中から、ご利用になるアクセスポイントのネットワーク名(SSID)を選びタップします。

⑥選択したネットワーク名とキーボードが画面表示されたら、キーボードでパスワード欄へネットワークセキュリティキーを入力して、「接続」をタップします。

⑦表示画面が切り替わり、接続されたネットワーク名の下に「接続済み」と表示されます。

⑧ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。

電波状況の一覧表示には少し時間がかかる場合があります。  
クイック設定画面内、目当てのアクセスポイントのネットワーク名が表示されないときは、「詳細設定」をタップして全ての無線LAN受信電波を表示させてください。

(ネットワークセキュリティキーは1アクセスポイントにつき初回接続時のみ入力すれば本機に記憶されます。)

⑨表示画面が切り替わり、接続されたネットワーク名の下に「接続済み」と表示されます。

これで無線LANの接続設定は完了です。

接続中はWi-Fiアイコンが点灯し、接続中のネットワーク名が表示されます。

接続中はWi-Fiアイコンが点灯し、接続中のネットワーク名が表示されます。

アプリドロワー→アプリ画面→「設定」アイコン→「ネットワークとインターネット」にあるWi-Fi設定画面へ、自動的に移動しています。

無線LANを接続中に、クイック設定画面の点灯しているWi-Fiアイコンをタップすると、無線LAN機能がOFFになります。

### 4-6-2. Bluetoothの接続設定 (必要がある場合におこなってください。)

①Bluetoothの接続設定はペアリングとも呼ばれます。接続するBluetooth機器(別売)の取扱説明書を参照のうえ、Bluetooth機器側の電源スイッチをONにしてペアリングボタンを押すなど、ペアリング可能状態にしてから開始してください。  
[本機のBluetooth通信範囲:見通し距離約10m]

②4-5の手順でクイック設定画面を表示させます。

③Bluetoothのアイコンの下に表示されている、「Bluetooth」をタップします

④右の画面が表示されたら、「詳細設定」をタップします。

⑤画面が切り替わります。新しいデバイスとペア設定するをタップします。  
\*使用可能なデバイス(Bluetooth機器名)の表示までに、少し時間がかかる場合があります。数分待っても機器名が表示されない場合は、Bluetooth機器側のペアリング手順をやり直したうえで、左の本機表示画面の右上にある、ON状態のトグルスイッチをOFF→ONへ再操作するか、すべての手順をやりなおしてください。

⑥接続するBluetooth機器名が表示されたら機器名をタップします。

⑦ペア設定したデバイスのメッセージが表示され、相互の認証が開始されます。

⑧ペアリングが完了すると、表示が接続に変ります。

⑨ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。

接続中はBluetoothのアイコンが点灯し接続機器名が表示されます。アイコンをタップすると機能がOFFになります。

この前後にパスワード等の入力を求められたら、接続するBluetooth機器側の取扱説明書を参照のうえ入力してください。

これでBluetoothの設定は完了です。  
ペアリング情報は1デバイスにつき初回のみおこなえば本機に記憶されます。

クイック設定画面で接続状態の確認がおこなえます。

接続中はBluetoothのアイコンが点灯し接続機器名が表示されます。アイコンをタップすると機能がOFFになります。

接続中はBluetoothのアイコンが点灯し接続機器名が表示されます。アイコンをタップすると機能がOFFになります。

Bluetooth機器を使わないときは、バッテリー消費の節約および他の通信機器との干渉を防ぐため、本機のBluetooth機能をOFFにしておきましょう。

Bluetooth機器を使わないときは、バッテリー消費の節約および他の通信機器との干渉を防ぐため、本機のBluetooth機能をOFFにしておきましょう。

#### 4-6-3. キャスト(Miracastワイヤレスディスプレイ機能)の接続設定

(必要がある場合におこなってください。)

①キャストとはMiracast機能によって本機の画面をテレビ等の外部ディスプレイにワイヤレスで表示することです。Miracastレシーバー(別売)をお手持ちのディスプレイに接続し、あらかじめ接続待ち状態にしてください。Miracastレシーバーの手順はレシーバーの取扱説明書を参照してください。

②4-5の手順でクイック設定画面を表示させます。

③キャストのアイコンをタップします。

④下の画面が表示されたら、「設定」をタップします。

⑤画面が切り替わります。右上の「」をタップすると表示されるワイヤレスディスプレイの有効化をタップして有効にします。

⑥表示されたMiracastレシーバー名をタップすると、接続が開始され外部ディスプレイへの画面表示が開始されます。

⑦ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。

接続中はMiracastレシーバー名をタップすると、接続が開始され外部ディスプレイへの画面表示が開始されます。

これでキャストの接続設定は完了です。  
ペアリング情報は本機に記憶されます。

アプリドロワー → アプリ画面 → 「設定」アイコン → 「接続済みの端末」キャストの設定画面へ、自動的に移動しています。

### 4-7. おもな内蔵アプリについて

アプリは、アプリドロワーのタップで「アプリ画面」に一覧表示されます。  
←アプリドロワー、アプリ画面【※ 4-3.(ホーム画面)の基本操作方法】  
以下は本機のおもなプリインストールアプリです。アイコンのタップからご利用ください。

	カメラ カメラで静止画や動画を撮影		カレンダー スケジュール管理などがおこなえます
	ギャラリー 保存した動画・静止画を再生します		ファイル 内部/外部機器のファイル管理ができます
	ブラウザ インターネット画面を表示します		メール メール・メールの利用ができます
	音楽 保存した音楽を再生します		音声レコーダー 内蔵マイクから音声をメモ録音できます
	検索 インターネット検索ができます		時計 アラーム、タイマー、ストップウォッチなど
	設定 本機の各種詳細設定画面に進みます		電卓 電卓、関数電卓が利用できます
	連絡先 メールアドレスなど連絡先を管理します		

## 5. 画面カスタマイズと各種設定

ここではホーム画面のカスタマイズや各種詳細設定の方法を説明します。

### 5-1. 壁紙の変更とウィジェット表示のカスタマイズ

●壁紙の変更

①ホーム画面のアイコンなどが何もない場所を長押しします。

②以下の、壁紙/ウィジェットの設定メニューが表示されたら「壁紙」をタップします。

③表示される画像アプリから画像を選択します。  
ご購入時点の壁紙ファイルは一種類のみです。他の壁紙用画像ファイルは別途ご用意ください。

④画面左上の「壁紙を設定」をタップします。

壁紙を設定

(変更対象画面を聞かれるので選択します。)

●ウィジェット表示の設定 - アプリを起動しなくてもアプリ情報の確認ができます。

①壁紙/ウィジェットの設定メニューを表示して、「ウィジェット」をタップします。

②ウィジェットの一覧が表示されます。ここでは設定例としてアナログ時計のウィジェットを長押しします。

③以下の画面になったら指を離します。

④ホーム画面にアナログ時計のウィジェットが常駐表示されました。

選択したWebサイトやメールの新着なども、ホーム画面にウィジェット表示できます。

●アプリアイコン表示の設定 - ホーム画面にアプリアイコンを常時表示できます。

①アプリ画面を開きます。ここでは例として「カメラ」アイコンを長押しします。

②以下のように吹き出しが表示されたら長押ししたまま指を横にずらします。

③以下の画面になったら指を離します。

④カメラアイコンが常駐表示されました。

吹き出しが表示されたら指を横にずらす

アプリ画面

ウィジェット

アプリによって、ホーム画面に常駐させるアイコンの形状を選択することもできます。  
アプリアイコンを長押しする際に吹き出しに表示されるウィジェット情報などをタップして参照してください。

ウィジェットやアプリアイコンの移動や削除方法(例)

●カメラアイコンの移動  
カメラアイコンを長押しします。アイコンの横に吹き出しが表示されたら指を離さずアイコンをドラッグします。

●時計ウィジェットの削除  
時計ウィジェットを長押しします。画面上部に表示された「削除」アイコンをドラッグし、アイコンの色が変わったら指を離します。

### 5-2. 各種詳細設定の変更方法

アプリ画面「設定」アイコンのタップで詳細設定画面が表示されます。

以下は詳細設定の一例です  
ディスプレイの明るさを自動調節にする→「ディスプレイ」→「明るさの自動調節」→…  
表示文字のサイズの変更→「ディスプレイ」→「詳細設定」→「フォントサイズ」→…  
通知音を「あり」にする(出荷時設定なし)→「音」→「詳細設定」→デフォルトの通知音→…  
アプリのアンインストール→「アプリと通知」→「アプリ情報」→対象アイコンをタップ→…  
手動日時合わせ→「システム」→「日付と時刻」→自動設定をOFF→日付設定、時刻設定→…

本機の初期化をおこなうときは、設定→「システム」→「リセットオプション」→「すべてのデータを消去」の手順でおこないます。初期化(初期状態(リセット))とは、システムが手作業で修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などやむを得ないときに、本機の復旧を目的として本機内の各種設定や記憶媒体をすべて消去し、工場出荷時状態に戻す手段のことです。

## 6. 本機の仕様について

●製品仕様書などについて  
製品仕様書およびその他の情報は次のWEBサイトからご参照ください。  
<https://ods.co.jp/support/pcsupport/productinfo.html>

●有寿命部品、消耗品について

有寿命部品	ACアダプター、記憶媒体(e-MMC)、液晶パネル、タッチパネル
消耗品	バッテリーパック、電源ケーブル、拡張ポート接点端子

本機には有寿命部品や消耗品が含まれています。有寿命部品の交換時期はご使用になる頻度や条件により異なります。消耗品は性能・機能維持のため適時交換が必要です。有寿命部品や消耗品の部品交換は、保証期間内・外にかかわらず有料です。

●バッテリーサイクルについて

[ 800サイクル ] 経過時点の満充電時の駆動時間は、初期性能の[ 80% ]以上です

内蔵(バッテリーパック)は消耗品です。バッテリーはご使用により徐々に劣化していきま(サイクル劣化)。満充電時の駆動時間が初期性能のおよそ50%付近まで低下した場合、バッテリーは寿命を迎えていますので、オーディーエスPCカスタマーセンターへ交換を依頼してください。【※ 別冊 使用上の注意・サポートガイド】も必ずお読みください。

●補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品の保有期間	製造打ち切り後2年間
--------------	------------

補修用性能部品の保有期間をもって、製品の修理対応は終了となります。(補修用性能部品とは、製品の機能・性能を維持するために必要な部品で、すべての部品ではありません。)

●無線LANおよびBluetoothワイヤレステクノロジーについて

2.4GHz帯無線LAN / Bluetoothワイヤレステクノロジー  
この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

①この機器を使用する前に近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

②万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止しうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、(ビーディション)の設置など)についてご相談ください。

③その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は、下記連絡先にお問い合わせください。

(2.4GHz帯無線LAN)この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS変調方式/OFDM変調方式の無線装置で、干渉距離が40mであることを示しています。  
\*使用できるチャンネル(ch)は、1ch〜13chです。

(Bluetoothワイヤレステクノロジー)この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するFHSS変調方式の無線装置で、干渉距離が40mであることを示しています。  
\*送信出力はPower Class2で通信範囲は見通し距離約10mです。

5GHz帯無線LAN (ご利用になる場合は対応する無線LAN親機をご用意ください。)  
この機器は5GHz帯無線LANを内蔵しており、使用できるチャンネル(ch)は以下です。

IEEE802.11a/n/ac	W52: 36ch, 40ch, 44ch, 48ch W53: 52ch, 56ch, 60ch, 64ch W56: 100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch
------------------	--

\*W52とW53は、電波法によりご利用が屋内に限定されています。

無線LANはネットワークセキュリティキーを利用するなどのセキュリティ設定をおこなううえで使用してください。セキュリティ設定をしていない場合、第三者に通信内容を盗み取られたり、不正にネットワークへ侵入されたりするおそれがあります。

●瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。なお、内蔵(バッテリー)の充電残量が不十分な場合は本規格の耐力を満たさないのをご注意ください。

●高調波電流規制について

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品です。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

©2019-2023 ODS Corporation

製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。本書を含む各種マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。本書で使用している画像等はそれぞれの表示イメージです。製品と異なる場合があります。本書を含む各種マニュアルの内容について、万が一ご不審な点や誤りがありましたら、オーディーエスPCカスタマーセンターへご連絡ください。なお、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、各種マニュアルの記載内容にかかわらず当社はその責を負いません。本製品に内蔵のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤルティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用許諾されます。他社製周辺機器およびソフトウェアについては動作を保証するものではありませんので、各販売元にお確かめの上ご購入ください。本製品に記載した著作物は、個人で楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。本書を含む各種マニュアルの無断転載を禁じます。【商標について】Google, Googleロゴ, Android, Androidロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。microSD, microSDHCは、SD Card Associationの商標または登録商標です。Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. USAの商標または登録商標です。日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のWnn IMEを使用しています。iWnn IME © OMPRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2023 All Rights Reserved. その他記載されている会社名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。本書ではマーク、TMマークを省略しています。

DC1201-01F 2023年4月 六版

オーディーエス株式会社  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5 東京神田須田町ビル  
お問い合わせ先: オーディーエスPCカスタマーセンター  
電話サポート窓口 ナビダイヤル 0570-001134  
サポートホームページ <https://ods.co.jp/support/pcsupport.html>